

## 夏休みからここまで

期末試験も終わり、まもなく前期が終わろうとしています。7月の進路通信でも書きましたが、夏休みを利用して興味関心のある説明会や見学会に足を運んでみましたか？行けていなくても、ここまでは「どんな学校に行きたいか」「どんな活動をしてみたいか」などを考えることができていると今後の活動に生かされると思います。まだ、何も考えていない、動き始めていない人は、前期の終業式までには自分が「やりたいこと」「頑張りたいこと」、「理想の学校」を頭の中で考えておいてほしいと思います。

## ここからやるべきこと

上に記したように、進学を考えている人はまず、自分がどんな高校に行きたいかが大切になってきます。そのうえで次の動きを考えていかないと、動けません。この先の流れを書きました。

10月初旬頃	第2回 進路希望調査	
10月末頃	教育相談（三者面談）	～ここまでのみなさんの進路の確認や相談～
11月初旬頃	後期中間テスト	～進路成績に関わる試験になります～
〃	第2回 進路保護者説明会	
11月中旬頃	第3回 進路希望調査	
12月初旬頃	第4回 進路希望調査	※ <u>私立受験校の最終決定</u> になります
〃	三者面談	～私立受験校確認と公立高校受検に向けての確認や相談～

年末までは、このような予定になっています。私立高校を受験する人は、12月初旬には受験校を決定させないといけません。ここから2か月で考えて、行動しなくてはいけないポイントは2つ。

①自分が進学したい学校への説明会や見学会に参加すること。（必ずインターネットで該当校のサイトをみて、事前予約などが必要な確認、申し込み）

※私立高校では、見学会などに参加することが受験の志願条件になっている学校もあります。また、説明会終了後などに個別相談会などがある場合もあるため、必ず参加してください。

②後期中間試験に向けて、こつこつ勉強を始めていくこと。（基礎基本の見直しや毎日の授業の復習）以上のポイントを押さえ、進路に向けた活動を進めてください。

また、私立の通信制高校や高等専修、専門学校、県立のインクルーシブ教育実践推進校においては受験や受験申し込みの始まっている学校もあります。こちらもサイトなどでの確認や足を運んで説明会などに参加することをお勧めします。

## 推薦入試を考えている場合

辞書を引くと推薦とは、「自分がよいと思う人、物事を、他人にすすめること」と書かれています。進路における推薦（入試）の場合、上記の「自分」とは中学校で、「他人」とは進路先をさしています。つまり高校への推薦入試の場合、「中学校がよいと思う人を進路先にすすめること」となります。私立の推薦入試日は一般の入試日より早いで、入試結果も早く出てきます。入試が終わると気持ちも緩みがちですが、推薦とは受験を有利に進める資格ではありません。結果発表から卒業日まで、進路先に薦めることができる生徒であることが、推薦する側の考えです。学問やスポーツなどで、推薦を考えている人は、そのことも頭に入れて受験してほしいと思います。

## 保護者のみなさまへ

公私ともに、秋の説明会が本格化してまいります。スケジュールを組み、説明会や見学会には積極的に足を運ばれることをお勧めします。合同説明会なども行われるので、インターネットでご確認ください。